

おおぶ いきもの ブック



大府市環境パートナーシップ会議
大 府 市

もくじ

●生物多様性 ^{せいぶつ たようせい} ってなんだろう？	1～3
●生物多様性の恵み ^{せいぶつ たようせい めぐみ}	
●いきものからの「S.O.S」 ^{エス オー エス}	
●ぼくたち・わたしたちにできること	
●おおぶに ^す 住んでるいきもの	
●おおぶいきもの図鑑 ^{ず かん}	4
ほ乳類 ^{にゅう るい}	4
1 イタチ 2 タヌキ 3 ヌートリア 4 モグラ	
は虫類・両生類 ^{ちゅう るい りょう せい るい}	5～6
5 ヤマカガシ 6 カナヘビとトカゲ 7 ヤモリ 8 クサガメ	
9 アカミミガメ 10 ウシガエル	
水中のいきもの(魚類・エビ、カニの仲間・貝類) ^{すい ちゅう ぎょ るい なか ま かい るい}	6～8
11 カダヤシ 12 メダカ 13 ヌマチチブ 14 モツゴ 15 ワカサギ	
16 ブラックバス 17 ブルーギル 18 カワニナ 19 テナガエビ	
20 アメリカザリガニ	
鳥類 ^{ちょう るい}	9～11
21 ツグミ 22 ハクセキレイ 23 チョウゲンボウ 24 コアジサシ 25 コゲラ	
26 キジ 27 ケリ 28 カワセミ 29 コサギ 30 ムクドリとヒヨドリ	
31 カワラヒワ 32 ツバメ	
昆虫類 ^{こん ちゅう るい}	12～15
33 ウチワヤンマ 34 ギンヤンマ 35 ショウリョウバッタ	
36 クルマバッタモドキ 37 オオカマキリ 38 エンマコオロギ 39 カブトムシ	
40 コクワガタ 41 ナナフシ(ナナフシモドキ) 42 タマムシ	
43 クマゼミ 44 ツマグロヒョウモン 45 ナガサキアゲハ 46 ジャコウアゲハ	
47 ヒメボタル 48 モリチャバネゴキブリ	
植 物 ^{しょく ぶつ}	16～19
49 クチナシ 50 クロガネモチ 51 スイレン 52 サクラ 53 ツユクサ	
54 ツリガネニンジン 55 アベマキ 56 クヌギ 57 コナラ 58 ツブラジイ	
59 マツ 60 シャシャンボ 61 イグサ 62 ガマ 63 ホルトノキ 64 タンポポ	
●いきもの絵日記 ^{え にっ き}	20～23
●言葉の説明 ^{こと ば せつ めい}	24
●いきものを見に行こう！ ^{み い}	25
おおぶいきものマップ	

せい ぶつ た よう せい

生物多様性ってなんだろう？

「生物多様性」っていったい何のこと？「多様性」とは、幅広く性質のちがうものが存在することを言います。「生物」、つまり「いきもの」にはどんなちがいがあるのか見てみましょう。

まず、それぞれが生きている場所がちがいます。

海や川、森や林。いろいろな種類の自然があり、多くの「いきもの」が関わりあいつながら生きています。

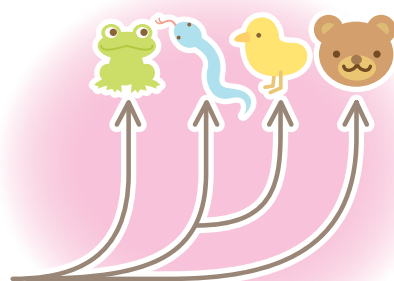


そして、さまざまな自然があれば生きていく「いきもの」もちがいます。その数は未確認のものを含めて3000万種類といわれています。これは長い時間をかけて、祖先の「いきもの」から少しずつ枝分かれしてきた結果なのです。

また、種類が同じでもたくさんのちがいがあります。

たとえば、人間でも肌の色や背の高さがちがうなど、同じ人間でもそれぞれちがう「個性」をもっています。

これらすべてが保たれていることを「生物多様性」と言います。



そして、いろいろな種類の「いきもの」が「食べたり、食べられたり」や「利用したり、されたり」というように、お互いに関わりあって生きている「生態系」という「つながり」を作っています。それぞれの「いきもの」が「生態系」の中で重要な役割をはたしているのです。

せい ぶつ た よう せい めぐ

生物多様性の恵み

わたし にんげん せいたいけい なか
私たち人間も「生態系」という「つながり」の中にある「いきもの」なのです。

くうき みず さかな かじつ
すんだ空気やきれいな水、魚や果実などの
しょくりょう わたし い
食料がなくては私たちは生きていけません。

しぜん わたし せい
さらに、「自然」や「いきもの」は私たちの生
かつ やくだ あた
活に役立つものをたくさん与えてくれます。



き くさ かみ くすり いえ
たとえば、木や草は紙やトイレットペーパー、薬、家などになっています。

やちょう かんさつ やがい かつどう しぜん わたし
また、野鳥観察や野外活動などの自然とのふれあいは、私たちをいやし
てくれます。

せいぶつ たようせい わたし ささ
「生物多様性」は私たちの「いのちとくらし」を支えています。

エス オー エス

いきものからの「S.O.S」

じつ わたし じぶん く ゆた せいぶつ たようせい
実は私たちは、自分たちの暮らしを豊かにするために、生物多様性の
こせい こわ
「個性」や「つながり」を壊していることがあります。

もり げんき く ちい もり
たとえば「森」で元気に暮らしていた「小さいいきもの」たち。「森」がな
ちい おも かず へ わたし かん
くなり、「小さいいきもの」の数が減るとどうなるでしょう？ 私たちには関
けい おも かんが ちい
係ないように思えますが、ちょっと考えてみてください。「小さいいき
へ おお
もの」が減ると、それをエサにする「大きな
せいかつ
いきもの」が生活できなくなるのです。

おお きょうりゅう
「大きないきもの」はかつての恐竜のよ
ぜつめつ
うに絶滅してしまうかもしれません。

もり ちい
このように、「森」や「小さいいきもの」、
おお
「大きないきもの」はつながっています。

わたし にんげん いちいん
そして、私たち人間もその「つながり」の一員なのです。



ぼくたち・わたしたちにできること

「生物多様性」を守るために、私たちができることはむずかしいことではありません。

「いきもの」の住む環境を乱したり汚したりしないようにしましょう

⇒自然の中にゴミを捨てない、自然のものを持ち帰らないなど

「いきもの」の住む環境を育みましょう

⇒木や草花を育てる、水をきれいにするなど

「いきもの」の住む環境にある資源やエネルギーを大切に使いましょう

⇒電気をこまめに切る、水を流しっぱなしにしないなど

また、外来種は野山に放してはいけません。外来種とは、もともと日本には住んでいなかった「いきもの」のことです。外来種を勝手に放してしまうと、急速に増えることがあります。そうすると、昔から日本に暮らしてきた「いきもの」たちは住むところや食べ物がなくなって生きられなくなり、生物多様性が失われてしまうかもしれません。

「いきもの」はみんなつながっています。

「いきもの」を大切にしましょう。



おおぶに住んでるいきもの

大府にはたくさんの「いきもの」が住んでいます。
草原に住んでいるもの、森や林に住んでいるもの、
川や池に住んでいるもの。



大府の「いきもの」がどんなところに住んでいるのか、さがしに行きましょう。この本にある「いきものマップ」を見れば、出会えそうな「いきもの」がわかります。

「いきもの」を見つけたら、「いきものブック」などで詳しく調べてみましょう。いろいろな「いきもの」がみなさんを待っています!!

1 イタチ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おくいけ 奥池、あいち健康の森公園など



すいでん かわ いけ いしがき き ねもと す つく
水田や川、池などの石垣や木の根元に住みかを作り、ネズミやカエル、昆虫などを食べる。体毛は茶色。体長は30cmぐらい。頭は平らで、胸が長いのが特徴。水辺で泳ぐのが得意で、木にも登る。最近、住める場所が少なくなってきた。

2 タヌキ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おおふ 大府みどり公園など



やこうせい ざっしよくせい さかな かじつ
夜行性のいきもの。雑食性で、カエルや魚、果実も食べる。主に林に住んでいるが、最近では虫が落ちてくる側溝に落ちることもある。体毛は黒褐色。体長は50cmぐらい。

3 ニートリア

外来

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おくいけ いし が せがわしゅうへん
奥池、石ヶ瀬川周辺など



とくていがいらいせいぶつ けがわ たいりょう ゆにゅう
特定外来生物。毛皮をとるために大量に輸入された。体毛はこげ茶色。体長は50cmぐらい。水辺の植物を食べるが、水田や畑の作物に被害を与えている。泳ぐ姿がビーバーやカワウソに似ている。

4 モグラ

見やすい季節 春・夏(3月～8月)

大府市で見やすい場所 おくいけ 奥池、あいち健康の森公園など



ほ つち お だ つく
掘った土を押し出してトンネルを作り、モグラ塚と言われる小山を作る。鼻先が太く、土を掘るために前足が大きく、尾が短い。昆虫やミミズを食べる。体毛は灰褐色。体長は15cmぐらい。

5 ヤマカガシ

見やすい季節 春・夏・秋(5月～11月)

大府市で見やすい場所 ながくさはちまんしゃ いしがせがわしゅうへん
長草八幡社、石ヶ瀬川周辺など



このたすいでん みずべ おお
カエルを好んで食べるため、水田や水辺に多い。
おとなしいヘビだが、奥歯と頸部に毒腺があるため、深くかまれるととても危険。頭が赤く、大きくなると1mを超えるものもいる。

6 カナヘビとトカゲ

見やすい季節 春・夏・秋(5月～11月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん のうこうち
大倉公園、農耕地など



かんそう ばしよ この ぜんしんちやいろ
カナヘビは乾燥した場所を好み、全身茶色でウロコが目立つ。トカゲはウロコにツヤがあり、幼体はシッパが虹色なので、大府小学校では「虹色トカゲ」との愛称がある。体長20cmぐらい。

は虫類・両生類

7 ヤモリ

見やすい季節 春・夏・秋(5月～11月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん しがいち
大倉公園、市街地など



やこうせい いえ あか く むし た
夜行性で、家の灯りによって来る虫を食べることから「守宮」と書き、古くから親しまれている。
あし うら しかばん よ した つか
足の裏の指下板と呼ばれるうろこを使って、ガラスや壁を登る。体長15cmぐらい。体が柔らかい。

8 クサガメ

見やすい季節 春・夏・秋(4月～11月)

大府市で見やすい場所 ほしな いけ さかいがわ
星名池、境川など



たいちよう かわ いけ す しな
体長は30cmぐらい。川、池に住み、市内では星名池でよく見られる。雑食性で、ミミズ、水草などを食べる。クサガメは足の付け根から臭い匂いを出すことから名がついた。

9

アカミミガメ

外来

見やすい季節 春・夏・秋(4月～11月)

大府市で見やすい場所
しらはいけ ふた ついけこうえん
白紗池、二ツ池公園など

こがめ みどりいろ あいよ
小亀は緑色で愛らしく、ミドリガメと呼ばれる。
めよこあかはい
目の横に赤いラインが入ることから名がついた。
たいちょうはんしよくりよくつよがいらいしゅ
体長は50cmぐらい。繁殖力が強い外来種で、
あいちけんはなきんし
愛知県では野外に放することが禁止されている。

10

ウシガエル

外来

見やすい季節 春・夏(5月～9月)

大府市で見やすい場所
ふた ついけこうえん さかいがわ
二ツ池公園、境川など

とくていがいらいせいぶつしよくにくよう
特定外来生物。食肉用にアメリカから持ち込まれ
おおがた
た大型のカエルで、アメリカザリガニや小魚など
たはんしよくりよくつようしひくこえな
を食べる。繁殖力が強く、牛のように低い声で鳴く。
たいちょう
体長20cmぐらい。おたまじゃくしは2年かけて
そだ
育つ。

11 カダヤシ

外来

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所
おおくらこうえん さかいがわ
大倉公園、境川など

とくていがいらいせいぶつ
特定外来生物。メダカに似ている。体長は4cm
せまるざっしよくせいちいこんちゅう
ぐらい。背びれが丸い。雑食性で、小さな昆虫や、
たかようちゅうこの
プランクトンを食べる。ポウフラ(蚊の幼虫)を好
んで食べ、「蚊絶やし」と呼ばれる。卵胎生で仔魚
うはんしよくりよくたか
を産むため、メダカより繁殖力が高い。

12 メダカ

希少

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所
いしがせがわ さかいがわ
石ヶ瀬川、境川など

せへいこうしへんけいどうぶつせいおも
背びれが平行四辺形。動物性プランクトンを主に
たながおがわすいろ
食べる。流れのゆるい小川や水路にいるが、カダ
ヤシのせうかかんきょうへんかかすげんしょう
の増加や、環境の変化などにより数が減少し、
2003年に絶滅危惧種に指定された。体長
ねんぜつめつきぐしゅししてい
は3cmぐらい。

13 ヌマチチブ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 いしが せ がわ さかいがわ
石ヶ瀬川、境川など



ため池や、中流域の川に生息する。岩などに付着している藻を食べ、産卵期になると体と斑点の色が変わり、石に卵を産み付ける。市内では境川などで見られる。体長は15cmぐらい。

14 モツゴ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん ほし な いけ
大倉公園、星名池など



体の中央に線がある。口が小さいことからクチボソとも呼ばれる。雑食性で、藻や虫の幼虫を食べる。汚水や環境の変化に強く、石垣やコンクリート壁を好むため、増えてきている。体長は8cmぐらい。

15 ワカサギ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ふた つ いけこうえん おく いけ
二ツ池公園、奥池など



市内では、愛知用水が流れ込むため池に多く生息する。水の汚れなど環境の変化に強い。主に、動物性プランクトンを食べる。体長は14cmぐらい。

16 ブラックバス

外来

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ふた つ いけこうえん きたさきおおいけ
二ツ池公園、北崎大池など



特定外来生物。体長は50cmぐらい。アメリカから芦ノ湖(神奈川県)に移入された。適応力が高い。親が仔魚を守るため、繁殖力が高く、急速に生息地域を拡大している。雑食性で、他種の幼魚や虫を食べる。

外来 …外来種(特定外来生物含む)

希少 …希少種(絶滅危惧種含む)

17 ブルーギル

外来

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ふた つ いけ こうえん さかいがわ
二ツ池公園、境川など



とくていがいらいせいぶつ ざっしよくせい すいちゅうこんちゅう こざかな この
特定外来生物。雑食性で、水生昆虫や小魚を好ん
で食べる。エラ（ギル）の後部分が青みがかった
ることから名付けられた。体長は25cmぐらい。
ブラックバス同様、親が仔魚を守る。

18 カワニナ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おくいけ おおくらこうえん
奥池、大倉公園など

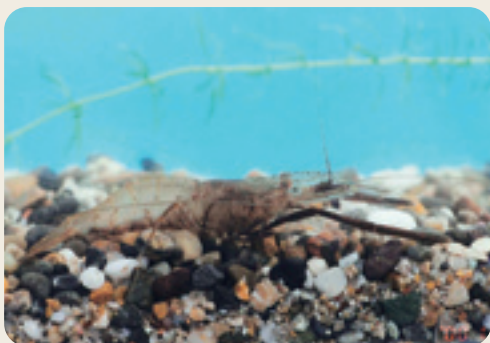


しない ひかくてきみず あさ かわ いけ すいろ
市内では比較的水のきれいな浅い川や池、水路で
見られる巻貝。ホタルの幼虫のエサとなる。体色
はこげ茶色。体長は3cmぐらい。卵胎生。

19 テナガエビ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 いし が せ がわ さかいがわ
石ヶ瀬川、境川など



やこうせい にっちゅう みずくさ ねもと いわ かげ かく
夜行性で、日中は水草の根元や岩の陰に隠れてい
る。肉食性で、小魚や水生昆虫を食べる。体長は
10cmぐらい。雄は体長の倍くらいあるハサミ
を持ち、黒っぽい。雌は雄よりハサミが小さく、
透明。

20 アメリカザリガニ 外来

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ふた つ いけ こうえん さかいがわ
二ツ池公園、境川など



とくていがいらいせいぶつ 特定外来生物。ウシガエルのエサとして北アメリ
カから持ち込まれた。池や川、水田、水路の泥の
中を好んで、生息している。ハサミは雄のほうが
大きい。体長は15cmぐらい。冬は穴を掘って中
で過ごす。

21 ツグミ

見やすい季節 秋・冬(10月～3月)

大府市で見やすい場所 あいち健康の森公園、
大府みどり公園など

鳴き声 「キュッキュッ」「ツイー」



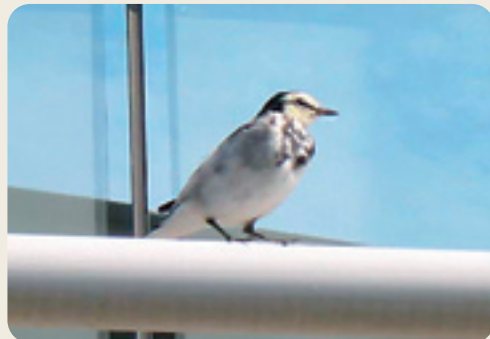
はら くら はんでん はね あかちいろ がつころ
腹に黒の斑点があり、羽は赤茶色。10月頃か
ら大きな群れで飛んでくる冬鳥である。実のついで
いる木や昆虫が多いところで見られる。体長は
20cmぐらい。

22 ハクセキレイ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 し ないせんいき
市内全域

鳴き声 「チチチュン」



せ くら かお しろ ちじょう ある まわ すこ
背は黒く、顔は白い。地上を歩き回ったり、少し
と あ 飛び上がったたりしてエサの昆虫を食べる。公園や
こうてい しがいち み たいちょう
校庭、市街地でもよく見ることができる。体長は
20cmぐらい。よく似たセグロセキレイも見られ
る。

23 チョウゲンボウ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ながくさはちまんしゃ おお ぶ こうえん
長草八幡社、大府みどり公園など

鳴き声 雄:「キッキッキ」 雌:「キーキーキー」



こがた るい にくしよくせい ちい
小型のハヤブサ類。肉食性で、ねずみなどの小
さな哺乳類や昆虫を食べる。畑や草原などの見渡
しのよい環境にある大きな木に住む。体長は
35cmぐらい。翼を広げると80cmぐらい。

24 コアジサシ

希少

見やすい季節 春・夏(4月～8月)

大府市で見やすい場所 ふた つ いけこうえん きたさきおおいけ
二ツ池公園、北崎大池など

鳴き声 「キリッキリッ」「キュルキュル」



ぜつめつぎくしゅ こそだ にほん なつどり
絶滅危惧種。子育てに日本にやってくる夏鳥。
かわら うめたてち こいし す つく しんにゅうしゃ たい
河原や埋立地に小石で巣を作る。侵入者に対して
しゅうだん いかく こうちゅう
集団で威嚇する。空中でホバリングしながらエサ
さが すいちゅう と こ こぎかな と たいちゅう
を探し、水中に飛び込んで小魚を捕らえる。体長
は25cmぐらい。翼を広げると50cmぐらい。

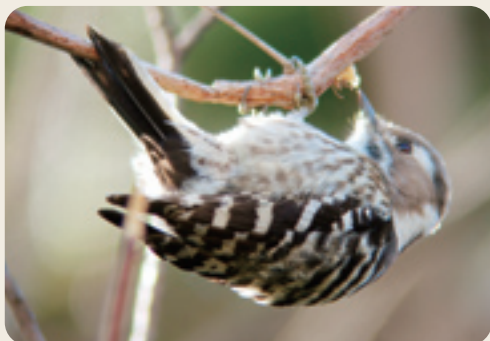
鳥類

25 コゲラ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん ふた つ いけこうえん 大倉公園、二ツ池公園など

鳴き声 「キツキツキ」「ギーギー」



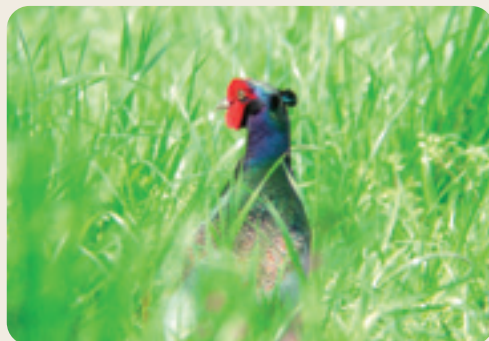
日本に住むキツツキの中で一番小さい。木にくちばしで穴を空け、虫を食べるが、木の実も食べる。雑食性。灰色と白のまだら模様。体長は15cmぐらい。スズメと同じぐらいの大きさ。

26 キジ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん のうこう ち 東山小学校周辺、農耕地など

鳴き声 「ケッケーツ」



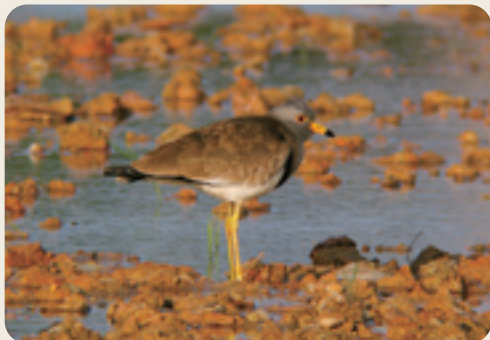
日本の「国鳥」。草原、農耕地で見られる。飛ぶのは苦手だが、走るの速い。体長は雄で80cmぐらい、雌で55cmぐらい。雄は青緑色で、美しい。「チョットコイ」と鳴くキジの仲間のコジュケイも市内で見られる。

27 ケリ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん すいでん 東山小学校周辺、水田など

鳴き声 「キリリリ」「ケリッ」



ミミズやカエル、昆虫などをエサとしている。くちばしは短く、黄色で先端が黒い。足が長い。畑や水田、川のそばに生息している。体長は35cmぐらい。飛んでいる姿はカモメに似て、羽を閉じるとハトに似ている。名前は鳴き声から名付けられた。

28 カワセミ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ほし な いけ けんこう もりこうえん 星名池、あいち健康の森公園など

鳴き声 「ツウピー」「チツピッ」



水辺に生息する。鮮やかな水色の体色で美しい。水辺の石や枝の上から水中に飛び込み、長いくちばしで小魚や水生昆虫を捕らえる。体長は15cmぐらい。赤土の崖に穴を掘って巣を作る。

29 コサギ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ふたつ いけこうえん くらなが せがわ
二ツ池公園、鞍流瀬川など

鳴き声 「グワァー」「ガァー」「グラララ」



はね しろ 羽は白く、くちばしは細長くて黒い。足も細長く
くろ ゆび きいろ すいでん かわ いけ みずべ
て黒いが、指は黄色。水田や川、池などの水辺
せいそく こざかな た たいちよう
に生息し、小魚やカエルなどを食べる。体長は
60cmぐらい。アオサギやダイサギ、アマサギ、
ゴイサギなどのサギ類も市内で見られる。

30 ムクドリとヒヨドリ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ムクドリ: びがしやましようがっこうしゅうへん
ヒヨドリ: 大府市立大府小学校など

鳴き声 ムクドリ: 「ギャーギャー」「ギョルギョル」
ヒヨドリ: 「ピーピー」「ヒーヒーヨ」



ムクドリは一年中群れで生活し、夕方、大群でね
ぐらに入る。木の実や地上の昆虫類を食べる。ヒ
ヨドリは秋に群れ、木の上で生活する。花びら、
はな みつ くだもの やさい は この
花の蜜、果物、野菜の葉も好む。ムクドリは20cm
ぐらい、ヒヨドリは30cmぐらい。

31 カワラヒワ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おお ぶ 大府みどり公園など

鳴き声 「キリリ」「コロ」「チョンチョンジュイン」



くちばしが太く、くすんだ緑色の翼に黄色が混じ
る。体長は15cmぐらい。スズメと同じぐらいの
おお しょうぶつ たね この た む こうどう
大きさ。植物の種を好んで食べる。群れで行動す
るが、木の葉に隠れるので見つけにくい。

32 ツバメ

見やすい季節 春・夏(4月～9月)

大府市で見やすい場所 しがい ち 市街地など

鳴き声 「チュピーツヒ」



こそだ にほん なつどり ひこう てき
子育てに日本にやってくる夏鳥。飛行に適した
ほそなが たいけい と こんちゆう た お
細長い体型で、飛びながら昆虫を食べる。尾がV
じがた たいちよう じんか しょうてんがい
字型。体長は15cmぐらい。人家や商店街などの
ひとどお ども か くさ あ
人通りがあるところに、泥や枯れ草をこね合わせ
す つく
た巣を作る。

33 ウチワヤンマ

見やすい季節 春・夏(5月～9月)

大府市で見やすい場所 しらは いけ おくいけ
白紗池、奥池など



がつころ うか ふくぶ さき おうびょう お
5～9月頃に羽化する。腹部の先に扇状の尾をも
つで名がついた。体長は7cmぐらい。体色は
きいろ くら いけ かわ そば み なわば
黄色と黒。池や川の側で見ることができる。縄張
り意識が高い。

34 ギンヤンマ

見やすい季節 春、夏(4月～10月)

大府市で見やすい場所 しらは いけ しやくしょ いけ
白紗池、市役所の池など



にほんぜんいき み おおがた たいちよう
日本全域で見られる大型のトンボ。体長は7cmぐ
らい。昼間に水辺を飛び回り、飛翔能力が高い。
こうそく と つか むすめ
高速で飛ぶので捕まえるのは難しい。雌は水辺の
くさ はこ う みずくさ ふ
草に卵を産むため、水草がないところでは、増え
ることはできない。

35 ショウリョウバッタ

見やすい季節 夏、秋(7月～10月)

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん
東山小学校周辺など



みどりいろ せみ がち がた す
緑色で頭の形がひょうたん型の大きなバッタ。住
む場所によって目立たない体色に変わる。雄は飛
ぶときに音を出すので「キチキチバッタ」とも呼ば
れる。雄は5cm、雌は8cmぐらい。日本最大の
バッタ。

36 クルマバッタモドキ

見やすい季節 夏、秋(7月～10月)

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん
東山小学校周辺など



くさはら のうこうち み せなか しろ び
草原や農耕地にてよく見られる。背中に白い「X」
の模様があるが、よく似たクルマバッタにはない。
うしろばね わ もよう たいちよう
後羽には輪のような模様がある。体長は4cmぐ
らい。

37 オオカマキリ

見やすい季節 春、夏、秋(4月～10月)

大府市で見やすい場所 おお ぶ こうえん ながくさはちまんしゃ
大府みどり公園、長草八幡社など



にほんさいだい たいちよう す
日本最大のカマキリ。体長は10cmぐらい。住む
ばしょ たいしよく か にくしよくせい じぶん
場所によって体色を変える。肉食性で、自分より
ちい むし この た たまご らんしやう めだ
小さい虫を好んで食べる。卵(卵鞘)をよく目立
う
つところに産みつける。

38 エンマコオロギ

見やすい季節 夏、秋(8月～10月)

大府市で見やすい場所 おく いけ ながくさはちまんしゃ
奥池、長草八幡社など



にほん なか み
日本のコオロギの中でもっともよく見られる。
たいちよう くさはら のうこうち せいそく か
体長は3cmぐらい。草原や農耕地に生息し、枯
くさ した この ざっしよくせい な
れ草の下を好む。雑食性。「コロコロリー」と鳴き、
あき ふうぶつし かお だいおう に
秋の風物詩でもある。顔がエンマ大王に似ている
な
ので名がついた。

39 カブトムシ

見やすい季節 夏(6月～8月)

大府市で見やすい場所 らたつ いけこうえん
二ツ池公園、
あいち健康の森公園など



せいちゆう
成虫はクヌギ、コナラ、ヤナギなどの樹液に集ま
る。幼虫は、腐葉土を食べて育つ。雌には角が無い。
ようちゆう ふようど た そだ めす つの な
体長は5cmぐらい。子供に人気がある。成虫は
たいちよう こども にんき せいちゆう
卵を産むと死に、冬は幼虫で過ごす。

40 コクワガタ

見やすい季節 夏(6月～8月)

大府市で見やすい場所 らたつ いけこうえん
二ツ池公園、
あいち健康の森公園など



しない み せいちゆう
市内でよく見られるクワガタ。成虫はクヌギなど
の樹液に集まり、幼虫は朽木を食べる。他のクワ
じゆえき あつ ようちゆう くちき た ほか
ガタよりも小さく、体長は4cmぐらい。1、2年
たいちよう ちい
で成虫になり、3年ぐらいは生きられる。

41 ナナフシ(ナナフシモドキ)

見やすい季節 春・夏(5月～9月)

大府市で見やすい場所 ふたつ いけこうえん
二ツ池公園など



体長は8cmぐらい。ぼう状の虫。敵から身を守るため、植物の茎や枝に色や形を似せる。サクラ、コナラなどの葉を食べる大人しい虫。森や林で見られる。

42 タマムシ

見やすい季節 夏(7月～8月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん ながぐきはちまんしゃ
大倉公園、長草八幡社など



全体に緑色の金属光沢がある美しい虫。体長は4cmぐらい。サクラなどの周囲に生息し、葉を食べる。死んでも色が変化しないので装飾に用いられることもある。枯れたマツを好むウバタマムシは、色がこげ茶。

43 クマゼミ

見やすい季節 夏(7月～8月)

大府市で見やすい場所 しなせんいき
市内全域



体が黒く、大きく透明な羽を持つセミ。体長は6cmぐらい。「シャアシャア」と鳴く。鳴く時間帯は主に午前中。10年ほど前までは、アブラゼミが多く見られたが、最近では都市化の影響でクマゼミが多くなってきた。

44 ツマグロヒョウモン

見やすい季節 春、夏、秋(4月～11月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん ながぐきはちまんしゃ
大倉公園、長草八幡社など



4～11月の間に多く見られる。体長は4cmぐらい。羽はオレンジ色で黒い斑点があり、雌は先端が黒い。幼虫はスミレ類を食べ、花壇のパンジーも食べるのでよく見られるようになった。幼虫はトゲだらけの毛虫。毒はない。

45 ナガサキアゲハ

見やすい季節 春、夏、秋(4月～10月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん 大倉公園など



ひょうめん くろ まえばね うら あか もん たいちょう
表面が黒く、前羽の裏に赤い紋がある。体長は
10cmぐらい。いぜん にしにほん み
以前は西日本でしか見られなかつ
たが、現在は関東でも見られる。ツマグロヒョウ
モンとともに温暖化の指標としても注目されている。
ようちゅう るい た
幼虫はミカン類を食べる。

46 ジャコウアゲハ

見やすい季節 春、夏(4月～8月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん さかいがわ 大倉公園、境川など



たいちょう あとにはね なな こうほう ほそなが の
体長は8cmぐらい。後羽が斜め後方に細長く伸
びる。さかいがわしゅうへん おお み おす はね こうたく
境川周辺で多く見られる。雄の羽は光沢の
ある黒色だが、雌は明るい褐色。幼虫はウマノス
ズクサ類を食べ、独特な形をしている。卵は赤い。
るい た どくどく かち たま あか

47 ヒメボタル

見やすい季節 春、夏(5月～7月)

大府市で見やすい場所 さかいがわしゅうへん 境川周辺など



たいちょう
体長は7mm。ゲンジボタルやヘイケボタルより
ひとまわ ちい からで くろ くび あか ようちゅう た
一回り小さい。体は黒く、首が赤い。幼虫が食
べるちい 小さなカタツムリのおお もり しゅうへん どて
る小さなカタツムリの多い森の周辺や土手などで
そだ しない がつけじゅん がつじょうじゅん ひか
育つ。市内では5月下旬から6月上旬によく光る。

48 モリチャバネゴキブリ

見やすい季節 春、夏、秋(4月～11月)

大府市で見やすい場所 ながくさはちまんしゃ おお ぶ こうえん 長草八幡社、大府みどり公園など



たいちょう お ば しだ
体長は1cmぐらい。落ち葉などの下にいることが
おほ いえ たてもの しんにゅう ふようど
多く、家などの建物には侵入してこない。腐葉土
がおほ もり はやし み はね いろ うす からだ
が多い森や林でよく見られる。羽の色が薄く、体
は茶色である。屋内性種のチャバネゴキブリと良
ちやいろ おくないせいしゅ よ
く似ており、頭の縦方向の模様がチャバネは「ハ」
に たま たてほうこう もよう
の字で、モリチャバネは「()」に見える。
み

49 クチナシ

見やすい季節 夏(花・6月～7月)

大府市で
見やすい場所 市役所(向畑公園)など



おおぶし し はな がつ じゅんぱく かお
大府市の「市の花」。6～7月に純白でよい香りの
はな さ がつ じゅんぱく み
花を咲かせる。10～11月ごろに橙色の実をつけ
る。乾燥させた実は食品の着色料や染料として用
いられる。

50 クロガネモチ

見やすい季節 秋、冬(実・10月～2月)

大府市で
見やすい場所 おおくらこうえん おおぶ ころえん
大倉公園、大府みどり公園など



おおぶし し き がつ うすむらさきいろ はな
大府市の「市の木」。5～6月に薄紫色の花をつけ、
あき ま か み わかえだ べにむらさきいろ くるがねいろ
秋に真っ赤な実をつける。若枝は紅紫色(鉄色)
になっている。同じ仲間でもトリモチが取れる緑の
えだ しな い おお きょうわにししょうがっこう
枝のモチノキも市内では多い。共和西小学校には
きいろ み
黄色の実のクロガネモチがある。

51 スイレン

見やすい季節 夏(花・6月～8月)

大府市で
見やすい場所 しらは いけ 白紗池、
ひがしやましようがっこうしゅうへん いけ
東山小学校周辺(マス池)など



すいせいしよくぶつ ふと こんけい がつ がつ
水生植物。太い根茎をはわせる。6月～8月ごろ、
すいめんじょう うつく はな さ えんげい
水面上に美しい花を咲かせる。いろいろな園芸
ひんしゅ はな いろ しろいろ きいろ ももいろ さまざま
品種があり、花の色は白色や黄色、桃色など様々
である。

52 サクラ

見やすい季節 春(花・3月～4月)

大府市で
見やすい場所 しらは いけ がっこう ころえん
白紗池、学校、公園など



はる ふうぶつし しゅるいいじょう
春の風物詩。サクラは400種類以上ある。よく
め
目にするのはソメイヨシノ、ヤマザクラ、オオシマ
ザクラ、カワツザクラ、シダレザクラなど。学校
にはソメイヨシノが多数植えられている。

53 ツククサ

見やすい季節 夏(花・6月～9月)

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん
東山小学校周辺など



畑の端や道端で見かけることの多い雑草。夏に3cmぐらいの青い花をつける。晴れた日は午前中で花を閉じる。市内にはマルバツククサ、ハカタカラクサ、ヤブミョウガなどのツククサの仲間が見られる。

54 ツリガネニンジン

見やすい季節 夏、秋(花・8月～10月)

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん さかいがわ
東山小学校周辺、境川など



8月から10月頃に、薄い紫色のつりがね型の花を咲かせる。草原や管理された川の土手で見られる。高さは1mぐらい。春の山菜「トトキ」して知られている。

55 アベマキ

見やすい季節 秋(実・9月～10月)

大府市で見やすい場所 あいち健康の森公園、
大府みどり公園など



ブナ科の落葉高木。クヌギと似ているが、葉の裏に茶色の毛があり、樹皮のコルク層がよく発達する。樹高は20mぐらい。秋に丸いドングリができる。知多半島ではクヌギよりアベマキのほうが多い。2年で実になる。

56 クヌギ

見やすい季節 秋(実・10月～11月)

大府市で見やすい場所 あいち健康の森公園、
大府みどり公園など



ブナ科の落葉高木。葉の裏は緑でつやがある。市内では公園に多く見られる。樹高は20mぐらい。樹皮は暗い灰褐色で縦に割れ目ができる。樹液に昆虫がよく集まる。2年で実になる。

57 コナラ

見やすい季節 秋(実・10月～11月)

大府市で見やすい場所 ふたつ いけこうえん おおくらこうえん
二ツ池公園、大倉公園など



か らくようこうぼく じゅひ はいこくしよく たて わ め
ブナ科の落葉高木。樹皮は灰黒色で、縦に割れ目
はい じゅこう はな がつ ひら
が入る。樹高は20m ぐらい。花が4～5月に開
き、秋に実ができる。ドングリはアベマキ・クヌギ
くら ほそ ちい ねん み
に比べて、細くて小さい。1年で実になる。

58 ツブラジイ

見やすい季節 秋(実・10月～11月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん
大倉公園など



か らくようこうぼく じゅひ あんかつしよく
ブナ科の落葉高木。樹皮は暗褐色でなめらか。ド
ングリの中では一番小さい丸い実をつける。樹高
は25m ぐらい。5～6月にクリに似た匂いの花
をつける。2年で実になり、食べられる。よく似
たスダジイが、市内の公園には植えられているこ
とが多い。

59 マツ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 なかくさはちまんしゃ おおくらこうえん
長草八幡社、大倉公園など



か しんようじゅ
マツ科の針葉樹。アカマツ、クロマツ、アイグロ
マツなどがある。春に花が咲き、3年ぐらいか
て熟し、マツボックリを落とす。市内では神社に
多く見られる。

60 シャシャンボ

見やすい季節 秋(実・11月)

大府市で見やすい場所 ふたつ いけこうえん おお ぶ こうえん
二ツ池公園、大府みどり公園など



か じょうようじゅ は たまごた はうら しゅみやく ちい
ツツジ科の常葉樹。葉は卵形で、葉裏の主脈に小
さなトゲがある。花は7月頃に咲く。実は11月頃
に黒く熟し、甘酸っぱく食べられる。ブルーベリー
の仲間。

61 イグサ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 奥池、白紗池など



イグサ科の草。湿地や浅い水中に生える植物。高さは1mぐらい。茎は丈夫で、乾くとよい香りがする。畳表やゴザ、帽子、枕の素材として昔から利用されてきた。

62 ガマ

見やすい季節 夏・秋(穂・8月~10月)

大府市で見やすい場所 奥池、二ツ池公園など



池や沼などの水辺に生える。高さは1mぐらい。水中の泥の中に地下茎を伸ばす。夏に茎を伸ばし、円柱型の穂をつける。市内ではヒメガマ、コガマが見られる。

63 ホルトノキ

見やすい季節 秋(実・9月~11月)

大府市で見やすい場所 大倉公園、二ツ池公園など



ホルトノキ科の常緑高木。樹高は20mぐらい。7~8月につりがね状の白い花が咲き、オリーブに似た緑の実をつける。緑の葉に赤い葉が混ざる。学校や公園によく植えられている。知多半島の山によく見られる。

64 タンポポ

見やすい季節 春(花・3月~5月)

大府市で見やすい場所 市内全域



黄色い花が咲く。綿毛のついた種子をつける。市内では外来種のセイヨウタンポポ、アカミタンポポ、在来種のトウカイトンポポ、シロバナタンポポが見られる。外来種は一年中見られるが、在来種は夏に葉が枯れて、10月ごろまで休眠する。

いきもの絵日記

がつ
月

にち
日

てん き
天気：

ば しよ
場所：



みんなが^で会^あったいきものをかいてみよう!

がつ
月

にち
日

てん き
天気：

ば しょ
場所：



が 月
に 日
てん き 天気 :

ば しよ
場所 :



が つ 月
に ち 日
て ん き 天気 :

ば し ょ
場 所 :



言葉の説明

夜行性 主に夜に活動する性質のこと。

特定外来生物 生態系や農業・水産業などへ被害を及ぼすおそれのある外来種の中で国が指定しているいきもの。

もともと日本にいなかったいきものなので、日本にいるいきものを食べたり、住みかを奪ったり、人間の生活に迷惑をかけてしまったりするため、持ち帰って他の場所に移したり、育てたり、売ったりすることなどが原則的に禁止されている。

頸部 頭と胴体とをつないでいる部分。くび。

卵胎生 卵の中に入ったまま、メスのお腹の中で子どもの姿にまで育ってから生まれてくるいきものの性質のこと。
カダヤシやマムシ、タニシなどが有名。

絶滅危惧種 保護していかないと絶滅のおそれのある野生のいきもののこと。

希少種 数が少なくなってきたいきもののこと。準絶滅危惧種。

プランクトン ミジンコやケイソウなどのように非常に小さくて、主に水に漂っているいきもの。浮遊生物ともいう。

雑食性 人間のように動物質・植物質の両方を食べる性質のこと。

仔魚 魚の小さなこどものこと。ふ化してから全てのヒレが成長するまでをいう。

腐葉土 落ち葉が堆積してぼろぼろになった土。ある程度の養分や水分があり、様々な微生物の働きで暖かさを保っている。園芸によく利用されている。

在来種 その土地にもともと成育している固有のいきもののこと。園芸的には昔からの品種をいう。

いきものを見に行こう!

おおぶのいきもの・自然を

観察しに出かけよう!!!

下のポケットから

「おおぶいきものマップ」を取り出して、

見に行ってみよう!!!

おおぶいきものブック

発 行／大府市役所 環境課
TEL 0562-45-6223

発行日／平成 22 年 10 月

製作者／大府市環境パートナーシップ会議

協 力／「いきもの見つけ隊」参加者

大府市教育委員会

知多自然観察会

大府自然観察会

愛知ホテルの会（深谷豊）

大府市自然体験学習施設 ニツ池セレクトナ

備 考／本紙は小学校中学年程度を対象に
構成されています。